

いねか 稲刈り

2024.9.20



②今年もいずみ野小5年生と北光小の児童で協力して、この稲を刈り取ります。
★4年生以上が鎌を使って、稲を刈ります。ザクザク、ザクザク。6年生は慣れた手つきで、どんどん刈り取っていきます。



①最初に高田さんから、稲刈りについて説明していただきました。



③刈り取った稲を受け取り、あぜ道に運ぶのは、1～3年生の役割です。バラバラになって運びにくいのですが、みんな一生懸命に運びました。



④刈り取った稲は、ちょうどよい量にまとめます。熟練の技で、保護者のかたがしっかりと結んでくれます。結んだ稲は、トラックに積んで学校へ運びます。



⑥いねかり前、保護者のかたが校舎裏に、はさがけ用パイプを設置してくれました。パイプの間にロープを張って、ここに稲をかけていきます。稲は一束を半分に割るようになってかけます。

鳥さんよけの印。
キラキラするので、鳥さんがいやがるみたい...



注目！！

はさが 稲架掛けとは？

刈り取ったままにしておくと、カビが生えたり嫌なにおいがついたりするので、お日様と自然の風の方でゆっくり乾燥させます。
逆さまにして干すことで、葉っぱや茎に残っていた栄養がお米に集まって、さらに美味しくなるともいわれています。
昔は丸太を組んで、そこに干していましたが、現在はほとんどが機械で乾燥させることが多いようです。

鳥さんよけのネット。
鳥さんも新米がおいしいのかわかるのが、チュンチュン、食べてしまいます。